

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

長岡市長 磯田 達伸

市町村名 (市町村コード)	長岡市 (152021)
地域名 (地域内農業集落名)	福戸・王寺川地域 福戸(高野 大荒戸 南新保 福戸 福道) 王寺川(王番田 河根川 寺宝)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年2月20日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

・福戸地域は、農地台帳上70代以上の耕作面積が半数を占めるが、実際は若手も稼働し、後継者もあり、離農者の受け皿もあるため当面は農地維持が可能と見込まれる。
・王寺川地域は、後継者を探しているところであるが、河根川は10年やっていこうという人がおらず、農地の売買を希望する地主もあり、農地を購入した他地域からの入作も増えてきている。
・40年ほど前に圃場整備されており(1区画3反田)、自己所有施設を使っている人もいるが、整備の際にコンクリーも建設した。

(2) 地域における農業の将来の在り方

水稻を中心に、麦や大豆の集団転作を継続していく。今後は園芸作物も増やし、収入の安定化を図る。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	531.18 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	490.90 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地(青地)を対象農地とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
担い手が受け皿となり、離農者の農地の集積・集約を進めていく。
(2)農地中間管理機構の活用方針
権利設定においては農地中間管理機構を活用していく。
(3)基盤整備事業への取組方針
基盤整備から40年が経過しており、新たに取り組むには地域の理解が必要なため、慎重に検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
法人化を考えるだけでなく、雇用条件の整備をし、新規雇用につなげる。 後継者だけでなく、地域外からも就農希望者が来てくれるような体制作りを進めていく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
畦塗、レーザーレベリング、育苗など、自己所有が出来ない機械作業については委託をする。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④輸出	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組方針】

--